



院長 塚本 理一郎

つかもと・りいちろう ●  
日本整形外科学会認定整形外科専門医



## 湘南のSlow Lifeを世田谷に実現。 高度な知識と技術を誇る“町の診療所”

### 海外で得た見識を 地域医療に生かす

塚本理一郎院長は湘南鎌倉人工関節センターで長年治療に当たり、研鑽を積んできた。この度、開院される新医院では、塚本院長の高度な知識と技術が、開業医ならではのといえる十分に時間をかけた治療の中で発揮されることになる。

塚本院長は29歳でアメリカに渡っている。あるときチャンスが与えられたのを機に研究の世界に没頭し、周囲の評価も変わっていった。日本に戻ってから、日本整形外科学会のフェロー、アメリカ整形外科学会のフェローとして全米を巡って講演等を行うほか、日仏

整形外科学会にて選出されヨーロッパ8箇所の病院に留学を果たした。

「海外の手術で著名な医師たちは自らのクリニックを拠点に活動しています。自分自身が開業する際には、大病院への中継地点とか漫然とリハビリをする場所としてではなく、高度な医療を実践し、目的のあるリハビリを施行する場所を作りあげたいと考えました」

同院のリハビリルームの充実にはこうした理由があった。日常生活動作にとって重要な働きを担う下肢と背面の筋肉を鍛え、同時に筋力を測定して成長を視覚化できる機器が揃っている。塚本院長は患者に手の届く目標を設定し、患者のやる気を引き出す。患者は、自発的に目標達成を繰り返すことで身体機能の向上を実現することができる——包括的高齢者トレーニングという手法だ。また、多くの人を悩ませる腰痛についても、トレーニングによる腰痛にならないコンディショニングづくりが重視されている。

塚本院長は高齢者に多く見られる疾患の中で、とり



有名ブランド「ボーンランド」(boneは子ども、landは森を意味する)と提携したキッズルーム。子どもを持つ母親が気軽に来院できるのもうれしい。

わけ骨粗鬆症の予防に力を入れていく。「骨粗鬆症を適切に予防するには診察、画像診断、血液検査、そして骨量の測定を施行することが大切です。当院では腰椎と大腿骨部位で骨量を測定できる機器を導入しています。」と塚本院長。

膝関節、股関節、肩、肘、足関節といった関節の痛みに対しては、リハビリを中心とする保存治療を続け、手術は、本当に必要な患者にだけ勧めている。その場合は、湘南鎌倉人工関節センター等の適切な医療機関で手術し、術後は世田谷で納得いくまでリハビリを続けるという選択肢も可能だ。

取材／齊藤雅幸



森をイメージしたリラクゼーションできる院内。多くの木材を使い、絨毯や椅子は、緑や土を連想させる優しい色使いで統一されている。



### INFORMATION

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:30	○	○	手術	○	○	○
14:30~18:30	○	○	手術	○	○	—
19:00~21:00	○	—	日	○	—	—

※月1回第2土曜日は、手の外科・リウマチの診療日です。  
小田急線「祖師谷大蔵駅」北口徒歩12分  
祖師谷通り沿い、『祖師谷五丁目南』目の前です。

- 祖師ヶ谷大蔵駅からの場合 祖師ヶ谷大蔵駅北口にある「祖師ヶ谷大蔵駅北口」バス停より乗車
- 成城学園前駅からの場合 「成城学園前駅北口」を出て右方向に少し歩いたところにある「砦総合支所」バス停より乗車